

平成 20 年 1 月 4 日

ご投資家のみなさま

T&D アセットマネジメント株式会社

世界の金融市場の急変動について

足もとの金融市場動向

昨年、世界の金融市場は米国サブプライムローン(信用力の低い借り手向け住宅ローン)問題に大きく左右されましたが、11 月以降発表された金融機関の決算発表からも損失が拡大していることが確認されました。大手金融機関には資本増強を行うなど信用補完をはかる会社も見られましたが、サブプライム問題が長期化することで米国経済の停滞状態が続くとの懸念も強まっています。

米国経済に対する先行き不透明感が強まる中、1 月 2 日に発表された米 ISM(供給管理協会)が発表した 12 月の製造業景気指数が 47.7 と好不況の判断の分かれ目である 50 を 11 ヶ月振りに下回ったことで先行きの経済見通しに対する悲観論が一気に強まり、株式市場は急落しました。加えて原油先物価格が同日ついに 1 バレル 100 ドルの大台に乗せたことも経済にとって悪材料になるとの見方から、米国経済に対する先行き不透明感が更に強まりました。為替市場でも、年末にかけて東京市場では 1 ドル 113 円前後で推移していましたが、海外では 1 月 2 日に一気にドル安・円高が進み一時 1 ドル 108 円台にまで円は急騰しました。その後、12 月 11 日に 0.25% の利下げを決定した FOMC(連邦準備制度理事会)の議事録が公表されましたが、FOMC のメンバーが経済成長に対する下振れリスクに対する警戒を更に強めていることが明らかになったことも、ドル安・円高の要因となりました。

東京市場でも株安・円高の流れは止まらず、株式市場は本日取引開始直後から急落し、日経平均株価は 600 円以上下落する展開となりました。主な市場の数値は以下の通りです：

	2007/12/27	2008/1/3	変化率
NY ダウ工業株 30 種	13,359.61	13,056.72	-2.27%
S&P 500 種	1,476.36	1,447.16	-1.98%
ナスダック総合指数	2,676.79	2,602.68	-2.77%
ドイツ DAX 指数	8,038.60	7,908.41	-1.62%
フランス CAC40 指数	5,627.48	5,546.08	-1.45%
FT100 指数	6,497.80	6,479.40	-0.28%
香港ハンセン指数	27,842.93	26,887.28	-3.43%
シンガポール ST 指数	3,477.20	3,397.06	-2.30%

海外の株式市場については基準価額への影響を考慮し、12 月 27 日から 1 月 3 日としています。

	2007/12/28	2008/1/4	変化率
日経平均株価	15,307.78	14,691.41	-4.03%
TOPIX(東証株価指数)	1,475.68	1,411.91	-4.32%
米国ドル(*)	114.15	109.28	-4.27%
ユーロ(*)	166.66	161.10	-3.34%

(*) 為替レートは三菱東京 UFJ 銀行の対顧客公示相場の仲値

基準価額の騰落状況

平成 20 年 1 月 4 日現在

ファンド名	平成19年12月28日 基準価額(円)	平成20年1月4日 基準価額(円)	騰落幅(円)	騰落率(%)
世界優良株ファンド(3ヵ月決算型)	10,652	10,057	-595	-5.59%
世界優良株ファンド(毎月決算型)	11,856	11,187	-669	-5.64%
世界優良株ファンド(ラップ向け)	10,868	10,254	-614	-5.65%
世界物価連動国債ファンド	10,435	10,210	-225	-2.16%
欧州新成長国株式ファンド	10,753	10,399	-354	-3.29%
世界サステナビリティ株式ファンド(環境博士)	9,744	9,290	-454	-4.66%
コスモ・中国株厳選ファンド	17,489	16,534	-955	-5.46%
コスモ・モーニングスター・バランスファンド	9,572	9,286	-286	-2.99%
大同リサーチ&アクティブオープン RAO(らお)	10,443	9,969	-474	-4.54%
アクティブ バリュ어 オープン(アクシア)	18,450	17,603	-847	-4.59%
DCアクティブ バリュ어 オープン(DCアクシア)	29,285	27,940	-1,345	-4.59%
225DXオープン	15,051	14,446	-605	-4.02%
大同DC225インデックスファンド	14,431	13,851	-580	-4.02%
225インデックスファンド	3,382	3,246	-136	-4.02%
システム・オープン	6,408	6,172	-236	-3.68%
CBジャパン・オープン	11,864	11,824	-40	-0.34%
日本債券ベア	835	819	-16	-1.92%
インデックス ポートフォリオ(ミリオン)	5,355	5,144	-211	-3.94%
ボンドミックス ポートフォリオ(ミリオン)	8,791	8,619	-172	-1.96%
青のライフキャンパス・ファンド(標準型)	9,659	9,421	-238	-2.46%
赤のライフキャンパス・ファンド(積極型)	9,489	9,192	-297	-3.13%
GAMMA ジャパン・グロー・ス・ファンド(エクスペローラー)	7,187	6,884	-303	-4.22%
T&D日本債券安定型運用ファンドA号(偶数月決算型)	10,033	10,042	9	0.09%
T&D日本債券安定型運用ファンドB号(奇数月決算型)	10,061	10,069	8	0.08%
アジア・ダブルプレミア・ファンド(龍虎)	12,034	11,340	-694	-5.77%
ベトナム・ASEAN・バランスファンド(Vプラス)	9,952	9,588	-364	-3.66%

以上

本資料は投資家の皆様に T&D アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。

投資信託のお申込みに際してのご留意事項

投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券、投資信託証券など値動きのある証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。従って、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。これら運用による損益は全て投資家の皆様に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)をよくお読みいただき、ご自身でご判断ください。

投資信託に係る費用について

【お客様には以下の費用をご負担いただきます】

ご購入時に直接ご負担いただく費用

お申込手数料…上限 3.15%(税込)

保有期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬…上限 1.96%程度(税込)

その他費用…上記以外に保有期間に応じてご負担いただく費用があります。

ご換金時に直接ご負担いただく費用

信託財産留保額…上限 0.5%

当該手数料等の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

(ご注意)

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、T&D アセットマネジメントが運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■ 当社の概要

商 号 : T & D アセットマネジメント株式会社

登録番号 : 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 357 号

加入協会 : (社)投資信託協会 (社)日本証券投資顧問業協会